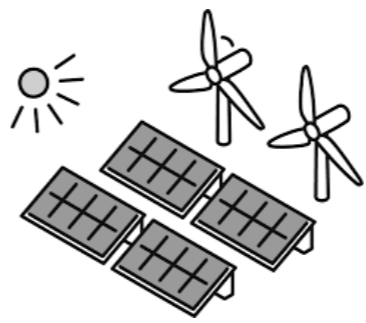


再生可能エネルギー普及に反する岸田政権 24年廃棄再エネ、750億円にも

再生可能エネルギーの電気買取りを電力大手が一方的に停止する「出力抑制」が2024年に前年比で1.4倍、家庭の平均電力料金に換算して750億円に上る事が明らかになりました。

福島第一原発の事故で原発の危険性が明らかに、「安全神話」が崩壊しました。これからのエネルギー政策は原発を減らし、安心安全な再生可能エネルギーを主力に組み立て、地球温暖化対策と合わせた方針に転換しました。

ところが岸田内閣は昨年、経産省や電力会社、原発メーカーなど「原子力村」と



謀り、エネルギー政策の変更を画策しました。国民に知らせず、国会で議論もせず、閣議決定しただけで強行しました。

原発再稼働や運転期間の延長、また原発の新設までも含んだ原発を基幹エネルギーとする政策です。これにより原発は次々に再稼働され、原発の電気が急増しました。

再生エネルギーは電力会社の送電網に継ぎ売却されますが、電気は需給バランスが崩れると大規模停電を招く恐れがあるので、バランスが保てる範囲内でしか受け入れられません。

電力大手は政府の「優先給電ルール」に基づき、原発の電気を最優先し石炭火力の順に受け入れます。再生エネルギーは最後に空きがあれば受け入れてやるという態度です。

再生可能エネルギーは民

間、国をあげて開発に取り組んできましたが、原発再稼働によって無期限・無保証で「出力抑制」を強要され、再生エネの電気を無駄に捨て、経営は大打撃です。

気候危機への対策は急務です。各国は再生エネの主力電源化を進めドイツは80%、イタリア72%（30年目標）と高めています。日本の目標は37%程度と極めて低水準です。原発と化石燃料依存からの脱却が必要です。

本を紹介

(渋谷見 太田 勲)



素敵な写真がいっぱいで見るだけでも楽しい、民医連の「いつでも元気」。読者の意見で出ている雑誌です。

内容は健康体操や脳トレ、社会情勢、映画紹介など盛り沢

山。クイズ、写真や俳句、川柳、絵手紙なども募集しています。

仕事の合間に、ちよつと一息を。月々380円です。

宣伝紙があります。まずは手に取って見てください。ご希望の方は村端（62-8440）まで。ちなみに「民医連」

とは戦後の荒廃の中、働く人々の医療機関として「民主医療機関連合会」が作られました。無差別、平等の医療と福祉を目指す組織です。「いつでも元気」は「死ぬまで元気」、健康作りの参考にしてください。

(滝沢 村端徳子)

福神漬け レシピ

材料 全体で1kgの分量（大根、人参は干した後の分量）

- ①大根と人参 薄く切ってカラカラになるまで干す
- ②きゅうり なす 塩漬けをしておいたもの（薄切りにして塩抜きをする、脱水機にかけると水分が抜ける）
- ③レンコン 薄切りして湯通しする
- ④生シイタケ、しょうが 薄切り
- ⑤調味料 醤油3合、砂糖300g、酒・みりん・酢 それぞれ0.5合
- ⑥調味料を煮立てて材料全体にかける 事前に大根と人参を干し、きゅうりとなすを塩漬けするので手間がかかりますが、おいしいです。

文芸欄 今月は川柳です

アメリカではしやぎすぎだよ岸田さん
フナ侍軍拡土産に米詣で
動き出す自作菜園命（ぬち）ぐすい 徳子



「子ども・子育て支援金」

なぜ公的医療保険に上乗せ徴収？

公的医療保険に上乗せ徴収する「子ども・子育て支援金」を巡り、子ども家庭庁は被保険者1人当たりの平均月額負担額の試算を公表しました。

「支援金」は2026年度から3年かけて段階的に引き上げ、最も負担が大きくなる2028年度に医療保険別で1人当たりの負担額が最も大きいのは、公務員など共済組合の月950円、年額で1万1400円となります。

そのほか▽大企業の健保組合で月850円、年1万2000円▽おもに中小企業の協会けんぽで月700円、年8400円▽国民健康保険で1世帯当たり月600円、年7200円▽後期高齢者医療制度で月350円、年4200円となる事が明らかになりました。



高橋議員 反対討論

子ども・子育て支援法改定案は19日の衆院本会議で、自民、公明の賛成で可決されました。日本共産党、立民、維新、国民は反対しました。

日本共産党の高橋千鶴子議員は反対討論で、反対の最大の理由は「財源の問題」だと指摘しました。（写真）

政府は「歳出改革で公費を削減した範囲内で支援金を徴収す

健康とサプリメント

「体重が減る」「おなかの脂肪をとる」などのテレビコマーシャルが多くなってきた昨今、たまたま、ある健康食品が健康被害をもたらした問題になっています。

今から10年前「機能性表示食品」が急増したと言われています。



それまでは「特定保健用食品」が主でした。この特保は、国

が有効性・安全性を審査し許可が必要であったため膨大な資金や時間がかかり、健康食品業界からは不評でした。

そこで業界は、国に働きかけ「食品の機能表示制約の見直し」を求め2015年から「機能性表示食品」が急成長しました。

導入時には自民党に多額の献金があったとあります。食は命です。安全性の確保を願っています。（3丁目 薄井百子）

コラム 有明

「読書して覚えた言葉はバカヤロウ」車中ラジオから流れた川柳である。書籍代として3500万円支出していた元幹事長を皮肉った句だ。本人にしてみれば「年なんか関係ないまだできるんだ」「世論が許さないから仕方なし出馬断念するだけだ」という無念さがにじみ出た言葉だろう。岸田首相は裏金議員39人を処分してこの問題に幕引きをはかるつもりらしい。キックバックが500万円以下の議員は対象外だという。政倫審に出席した議員はもとより裏金に関わった自民党議員は皆、記憶喪失か言語障害かと疑ってしまう。▲大幅軍拡を手土産の訪米で日米同盟強化が成果だと言え、国民が納得するとも思っているのか。党内さえまとめられない首相、内政、外交どれをとつても末期的症状のこの党に政権を任しておけるのか、国民の評価は内閣支持率が表している。▲今こそ政治を変えなければならぬ、変える絶好のチャンスだ。野党は共闘一致して大道につくべきだ。